

きょうちくとう

夾竹桃

Zikei ♥ Hospital 2018

新春



Contents

- p2 新年のごあいさつ『地域のこころのセンター』としてさらに前進を！…五大原則を見直そう！…
- p3 メンタルヘルス講座 長生きの秘訣はお口から！～超高齢化社会を元気に生きる～
- p4 病棟紹介 西3病棟
- p6 こころのひとやすみ いかがですか？～ストレスケア病床のご案内～
- p7 平成29年度中国地区DMAT協議会実働訓練を行いました
シリーズ発達障害①



新年のごあいさつ

昭和27年に創立された私達の慈圭病院は66周年を迎えています。新しい年を迎えて、当院の五大原則、①慈愛の医療②最先端の精神科医療③最高水準の医療倫理④積極的な地域貢献⑤チャレンジ精神、を日々再確認し、地域との連携をより密接にし、精神科基幹病院としての役割を積極的に行う年にしたいと思います。

新病棟“東館”の急性期医療（2つのスーパー救急病棟を利用することわからない医療）、認知症センター機能の拡充（認知症病棟）、ストレスケア病床の積極的利用推進をすすめるとともに、今春より、地域連携医療の充実（外来機能の拡充＝訪問看護ステーション、HARE ACTの積極的活用）、思春期青年期心の医療チームの新設を計画しています。慈圭病院全体のアメニティが生まれ変わり、地域に根ざした新しい慈圭病院が始まっていると昨年述べましたように、新しいうねりがさらなる活動に展開していきます。

そして、「わが子でも安心して任すことのできる精神科病院」としての医療を提供するためには、私達の働く環境もよりよくしなくてはなりません。育児援助やクラブ活動援助、事故防止やその対策への配慮をこれまで以上に滞りなく行うとともに、今年はハラスメント対策を充実させる年にしたいとも考えています。

本年も、「地域のこころのセンター 慈圭病院」として、皆さまと共に歩む、そして、かけがえのない一人ひとりの患者さま、家族の皆さまを大切にすることの医療を推し進めていきたいと思います。

ご支援、ご協力くださいますようお願いいたします。

院長 堀井 茂男

『地域のこころのセンター』として
さらに前進を！
…五大原則を見直そう！…



超高齢化社会を元気に生きる

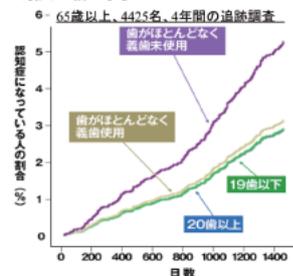
高齢化社会と歯科治療

超高齢社会と歯科は多くの分野で関係します。平成23年度の厚生労働省の人口動態調査では、肺炎が日本における死因別にみた死亡率の第3位にまで上昇してきました。肺炎死亡者の9割は高齢者であり、7割は誤嚥による肺炎と考えられています。そして肺炎は口腔ケアで優位に抑制できることが分かっています。さらに口腔ケアをすることによって咽頭部の細菌数を減らします。また間接的には嚥下機能を良くしたり、栄養状態を改善することも分かっています。

歯の数と認知症発症の関係

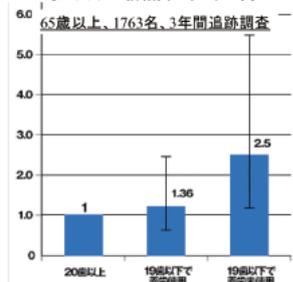
歯の数と認知症はどう関わっているのでしょうか？ある調査で歯を失い義歯も使用していない場合、歯が20本以上残っている人や義歯を入れている人と比較して、認知症の発症リスクが最大1.9倍になることが分かっています。すなわち歯の数が少ない程、認知症に罹患している人が多いことが分かっています。(図1)

(図1) 歯を失い義歯もないと、歯が20歯以上残っている人と比較して認知症の発症リスクが最大1.9倍になる



Yamamoto et al., Psychosomatic Medicine, 2012

(図2) 歯が19本以下で義歯も使用していない人は2.5倍転倒のリスクが高い



Yamamoto et al., BMJ open, 2012

(図3) 歯が20本以上ある人はない人と比較して1.2倍要介護になる可能性が高い。

歯数、咀嚼能力と要介護認定との関係				
	ハザード比	95%信頼区間		
歯数	20歯以上	1.00		
	19歯以下	1.21	1.06	1.40
咀嚼能力	なんでも噛める	1.00		
	ほとんど噛める	1.17	0.88	1.56
	あまり噛めない	1.47	0.89	2.44

65歳以上、4425名、4年間追跡調査
Aida et al., Journal of American Geriatric Society, 2012

歯の数と転倒リスクの関係

また別の調査では歯が19本以下でかつ義歯も使用していない人は、2.5倍転倒のリスクが高いことが分かっています。(図2)

歯の数と要介護の関係

保有する歯が19本以下の人は、20本以上の人と比較して1.2倍要介護認定を受けやすいという結果が出ています。つまり要介護状態になる危険性は歯が多い人ほど少ないこともわかってきています。ちなみに自家用車に乗っている割合や携帯電話を保有している割合は8020達成者(80歳で20本以上の歯が残っている状態)の方が高いという結果も出されています。つまり元気な高齢者でいるには、できるだけ自分の歯を保有することと、歯がなければ義歯を作ることが秘訣となりそうです。(図3)

歯科診療医長 小出 康史 [2017年10月17日開催]



西3病棟 精神療養病棟 [男性開放]



<病棟理念>

患者さま個々のその人らしい生活を共に考える

当病棟は西館3階にある男性の開放病棟です。
統合失調症や感情障害の回復期や慢性期の患者さまが入院されています。

病床数は、6床室1室、4床室8室、3床室2室、個室6室の50床です。

スタッフは、医師1名、看護師17名、介護福祉士2名、看護助手2名、作業療法士1名、精神保健福祉士1名の24名(うち医師を含め男性職員が11名)で構成されています。

病棟では、患者さまに寄り添い、その人らしい生活ができるように、また生活の場を見つけることができるように、患者さまの想いを聞きながら必要な援助とはなにかを常に考え多職種が連携しながらサポートしています。

また、長期入院でご家族も高齢の方が多くなっているため精神保健福祉士が細やかに連絡を取りその想いも大切にしながらご家族を含めたサポートを行っています。

その人にとって必要な援助とはなにかを常に考える



園芸プログラム 畑での園芸活動野菜づくり



退院支援カンファレンス

<作業療法>

作業療法士が中心となって患者さまの生活支援のための様々な活動を行っています。多くの患者さまが希望される活動に参加し、その人らしく楽しい時を過ごされています。年間計画では初詣、院外ショッピング、花見など病院外へ出るレクリエーションや、病院内のレクリエーションにも積極的に参加していただいています。患者さまの生活の質の向上、自己決定、意見決定の支援を行っています。

また、特徴的な活動として一週間に2回園芸のプログラムを行い、季節の野菜を作っています。収穫した野菜は近くの支援センターコンドルに無償で提供しています。



作業療法プログラム

<退院支援>

長期入院患者さまの退院を促進するため、医師、看護師、薬剤師、精神保健福祉士、作業療法士などを含む退院支援チームで、退院促進に取り組んでいます。社会資源を活用し患者さま個人にあったサポートを展開、地域で生活するための支援を入院中から行っています。患者さまと担当看護師、精神保健福祉士で施設見学を行いその患者さまに適した生活の場を探しています。そして、多くの患者さまが病院外に生活の場を見つけその人らしく生活されています。

病院外で生き活きと生活されている患者さまの様子を聞くことが、私たちスタッフの励みになっています。



病棟はクリスマスムード一色に

こころのひとやすみ いかがですか？

～ストレスケア病床のご案内～

現代社会は経済的に豊かになり、科学技術も日々進歩し、より快適性や利便性を追求する社会となりましたが、一方で多くの人々はストレスを抱えて生活しています。

皆さんは普段、対人関係に不安を抱いたり、仕事に集中できなかつたり、気分が落ち込んだり、いらいらして落ち着かない、といった不調を感じることはありませんか？心や身体に疲れを感じてはおられませんか？

ストレスはその人自身の生活の質を落とすだけでなく、自分でも気づかないうちに心や身体の健康をむしばみ、その人らしさをも失わせてしまうことがあります。そういった方々に私たちは『こころのひとやすみ』を提供する場としてストレスケアユニットを平成27年に開設しました。

ストレスケアユニットでは、心地よい療養環境の中で心身をリラックスさせ、ストレスで疲れた心と体を癒し、エネルギーを蓄え健康を取り戻す『心がひと休みできる』場所を提供しています。快適でゆったりしたお部屋で、十分休息していただき、各々に備わっている『自然治癒力を高められる場』として開設以来、多くの方が利用されています。

『わが子でも安心して任すことのできる精神科病院』の理念のもと患者さまが安心して日常生活が送れるよう心身ともにサポートしてまいりました。その豊かな経験と実績をもとに利用者の方々が安心して療養に専念できる環境を全力でサポートいたします。

専門の外来を開設していますので、ご希望の方はまずお電話でご相談ください。

お問い合わせ先



月～金 8:30～17:30 (日・祝日・年末年始を除く)

☎ 086-262-1191 (医療福祉相談窓口)



ストレスで疲れた心と体を癒し、エネルギーを蓄える場所

平成29年度中国地区DMAT協議会 実働訓練を行いました

10月14日(土)、岡山県内で大規模地震が発生した場合に迅速・効果的な広域医療体制が確保できるよう、中国地方5県のDMAT及び関係機関が緊密な連携強化を図ることを目的に合同訓練を実施しました。



【シリーズ発達障害①】

発達障害とは

発達障害は、脳の機能の発達に関する生まれつきの障害です。親のしつけや教育の問題ではありません。発達障害には、主に自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、学習障害があり、複数の障害が重なって現れることもあります。障害の程度や、知的発達の程度、年齢、環境要因などによって現れる症状は一人ひとり異なり、困り感も様々です。2012年の文部科学省の調査では特別な支援を要する何らかの発達障害をもつ児童生徒は6・5%とされ、まれなものではありません。

発達障害は子どもの問題だけではなく、成人し社会的な行動を要求される段階になって特性が明らかになることや、環境的ストレスから元来の特性が顕著となり、生きづらさにつながることもあります。不安症状や抑うつなどメンタルヘルスに影響を及ぼす可能性もあります。そのため、家族や周囲の人からの早期からの気付きと理解、援助が重要です。そのことで、個々の持っている本来の能力を伸ばし、本人らしい社会参加が可能となります。

自閉スペクトラム症(ASD)の中核症状は、表情や態度といった非言語的な「コミュニケーション」の困難さや、同年代との仲間作りが得意にできないといった「対人関係・社会的コミュニケーション」の障害や「こだわり・執着・興味の限局・反復・感覚の過敏さまたは鈍感」になります。2歳前後の発達早期に症状がみられますが、障害の程度や保護的な環境では症状がはつきり認められず、社会的な行動を要求さ

早期からの気付きと理解、援助が重要

れる段階になって明らかになることもありま

す。1〜2%にみられ男女比は4…1と報告されています。

注意欠如・多動症(AD/HD)の中核症状は、集中できない、忘れやすい、うっかりといった「不注意」じつとできない、しゃべりすぎるなどの「多動性」考えるより先に行動、待てない、我慢できないなどの「衝動性」です。多動症状は、成長とともに軽減しますが、不注意症状は持続するといわれ、また衝動性から、行動面の問題も生じやすく、周囲から誤解を受け、自尊心の低下をもたらすこともあります。成人期になって気付かれることもしばしばあります。学童期には5%前後、成人期には2・5%前後、男女比は2…1と報告されています。

限局性学習症(LD)は「読む」「書く」「計算する」などの能力が全体的な知的発達に比べて極端に苦手です。学童期に明らかになります。5〜10%といわれ男女比は2…1と報告されています。

支援や治療は個々のケースでさまざまですが、まずは個々の特性をきちんと評価することが重要になります。その上で、本人や家族などの困り感や情緒の問題なども複合的に考慮し適切な支援を組み立てていきます。また支援の目標は定型発達に近づけることではなく、特性を持ちながら社会の中で生きやすいように対処スキルを身に付けていき、自己理解をすすめる、自己肯定感を感じられることです。



外来担当医師

平成30年1月1日現在

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
再診	1診	堀井 茂男	石津 秀樹	堀井 茂男	武田 俊彦	岡 沢郎
	2診		武田 俊彦	山内 裕子	石津 秀樹	山下 理英子
	3診	岡田 志保	難波 多鶴子	吉村 優作	松下 貴紀	蜂谷 知彦
初診外来	田中 増郎	森 秀徳	原 正吾	渡邊 佑一郎	寺田 整司	定期の診察は ありません
	渡部 一予	岡田 志保	松下 貴紀	吉村 優作	鷲田 健二	
	木谷 玲	山下 理英子	北野 絵莉子	蜂谷 知彦	平岡 陽子	
				黒田 志保		
予約 専門外来 (午後)	石津 友子 (ペインクリニック)	堀井 茂男 (アルコール)	石津 秀樹 (もの忘れ)		堀井 茂男 (アルコール)	
					吉村 優作 (アルコール)	
					山下 理英子 (アルコール)	

- 診療時間 9:00~17:00
初診/受付時間 8:30~11:00
※事前にお電話での相談・予約もお受けしています。
- 専門外来
 - ・アルコール
 - ・もの忘れ
 - ・ペインクリニック(疼痛)
 - ・セカンドオピニオン
 ※事前にお問い合わせください。(予約制)

お問い合わせ番号 (086)262-1191 お問い合わせ時間 8:30~17:30

時間外・休日の急患対応いたします。お問い合わせください。

慈圭病院の理念

わが子でも安心して任すことのできる 精神科病院

創立以来、職員ひとりひとりが、患者さまとご家族の信頼にたる病院であるかを問い続けています。

五大基本原則

1. 慈愛の医療

ひとりひとりの患者さまに、慈愛と尊敬のこころをもって快適な医療を提供します。

2. 最先端の精神科医療

急性期医療からリハビリテーション、地域医療まで、良質で、最先端の精神科医療を実践します。

3. 最高水準の医療倫理

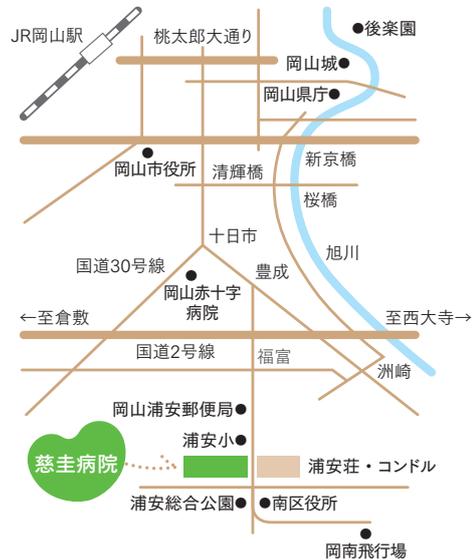
ヒューマンイズムに根ざした至高の医療倫理を保ち、安全で安心、納得のいく医療を実行します。

4. 積極的な地域貢献

地域との連携を密接にし、精神科基幹病院としての役割をはたすとともに、こころの病の理解のための教育、啓発活動を積極的に行います。

5. チャレンジ精神

私たち病院スタッフは、常にチャレンジ精神を忘れず、和の力を結集し、さらなる挑戦、実践を行います。



ACCESS

JR岡山駅より南へ約8km(浦安総合公園近く)

- 車で
 - 広島方面から 国道2号線「青江」で側道へ、「豊成」交差点を南へ約10分
 - 大阪方面から 国道2号線「福富」で側道へ、「豊成」交差点を南へ約10分
- バスで
 - 岡電バス JR岡山駅前より「浦安体育館・岡南飛行場行」に乗車、「慈圭病院」下車(岡山駅より約30分)

発行所/公益財団法人 慈圭会 慈圭病院 理事長 藤田英彦 院長 堀井茂男
〒702-8508 岡山市南区浦安本町100-2 TEL 086-262-1191(代)

ホームページもご覧ください

<http://www.zikei.or.jp>

モバイル端末からアクセスするなら

